

関連計画の概要

品川区まちづくりマスタープラン改定

-目次-

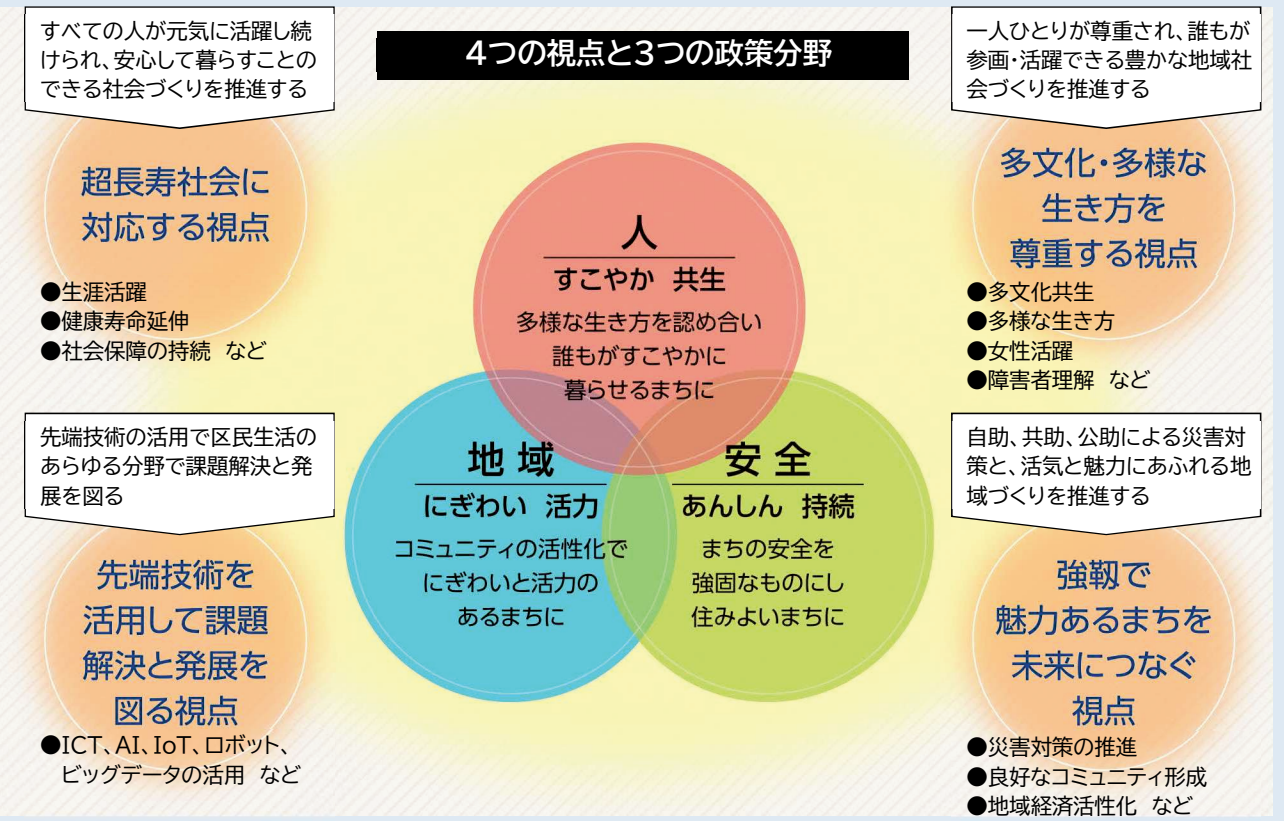
1. 品川区長期基本計画	1
2. 東京都計画	2
2-1 都市づくりのランドデザイン	2
2-2 東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	3

1 品川区長期基本計画 2020(令和2年度)-2029(令和11年度)

「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」

の実現に向けた今後10年間にわたる区の方針と取り組み

社会経済状況の変化
人口構造の変化／誰もがお互いに尊重し合い、活躍できる社会づくりの必要性／グローバル化への対応／東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの継承／頻発化する大規模災害への対応／交通結節点としての役割の高まり／ICT(情報通信技術)などの技術革新の進展／国連サミットにおけるSDGs(持続可能な開発目標)の採択



計画の目標

①超長寿社会に対応する視点	●健康寿命を男女ともに延伸 ●元気な高齢者の割合を向上 ●年少人口を増加
②多文化・多様な生き方を尊重する視点	●外国人人口を増加 ●障害者の就職率を向上 ●女性管理職の割合を向上
③強靱で魅力あるまちを未来につなぐ視点	●品川区に住み続けたいと思う区民の割合を向上 ●木造住宅密集地域の不燃領域率を向上 ●区内の温室効果ガス排出量を25%以上削減
④先端技術を活用して課題解決と発展を図る視点	●先端技術を健康・介護・教育・災害対策・産業など、あらゆる分野で最大限活用

地域 にぎわい 活力

- 誰もがつながる魅力ある地域社会の実現
- 学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり
- 伝統・文化を継承し親しむ環境づくり
- 地域の活力を高める産業の振興
- まちの魅力を活かした都市型観光の推進
- 魅力的で良好な都市景観の形成
- 水と親しむみどり豊かなまちづくり

誰もが人とつながり心豊かに暮らせるよう、地域コミュニティの活性化やICT(情報通信技術)を活用した産業の振興など、区民のさまざまな場面での活躍がまちのにぎわいや活力の創出につながる取り組みを推進します。

人 すこやか 共生

- 地域における共生社会の実現
- 生涯を通じた健康づくりの推進
- 子どもの笑顔があふれるまちの実現
- 未来を切り拓く学校教育の推進
- 青少年の成長と自立の支援
- 高齢者が安心して暮らせる環境づくり
- 障害のある人がいきいきと暮らせる環境づくり
- 平和で人権が尊重され多様性を認め合う社会の実現

人生100年時代といわれる中で、子どもから高齢者までライフステージ*に応じた切れ目のない支援を進めるとともに、外国人との共生など、多様な生き方を認め合いながら、誰もがすこやかに、いきいきと暮らせる社会をつくりまします。

安全 あんしん 持続

- 区民を災害から守る対策の推進
- 地球環境にやさしいまちづくり
- 安全と安心を体感できる地域社会の実現
- 区民と進める交通安全のまちの実現
- 地域特性を活かした計画的なまちづくり
- 快適な交通環境の整備

誰もが安心して暮らせるよう、災害対策など人々の生活の基盤となるまちの安全を強固なものにするるとともに、環境面なども含め持続可能な住みよいまちをつくりまします。

2 都市づくりのグランドデザイン -東京の未来を創ろう- (2017(平成 29)年9月 東京都策定)

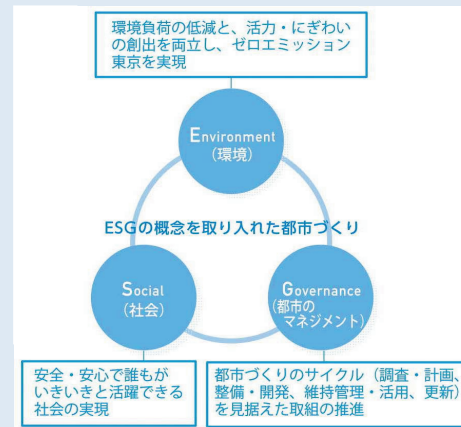
【目標年次】 2040 年代

【役割】 セーフシティ、ダイバーシティ、スマートシティの実現の礎となる都市づくりを推進

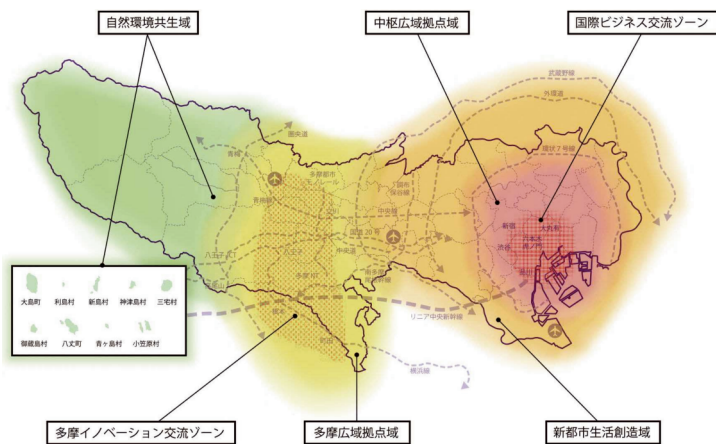
■都市づくりの目標

「活力とゆとりのある高度成熟都市」～東京の未来を創ろう～

- 新たな価値を生み続ける舞台として世界中の人々から選択されるとともに、個々人が、様々な地域で住み方、働き方、憩い方を選択できる都市を目指す
- 高度に成熟した都市として、「ESG」の概念も取り込み、最先端技術も活用しながら、ゼロエミッション東京を目指す
- みどりを守り、まちを守り、人を守る。あわせて、東京ならではの価値を高め、持続可能な都市・東京を実現していく



4つの地域区分と2つのゾーン



個別の拠点



都市の将来イメージ

国際的なビジネス活動が繰り広げられている区部中心部



木造住宅密集市街地が解消された魅力的な住宅市街地



東京ならではの魅力を楽しめる夜の水辺



【地域の将来像(中枢広域拠点域)】

目黒

○駅周辺の更新が進むとともに、駅前にふさわしい機能の維持・充実や、にぎわいと魅力を創出する商業、業務、居住機能などの集積が進み、利便性の高い拠点が形成されています。

大崎・五反田

○土地の集約化や街区再編、土地利用の転換などが進み、業務、商業、居住、文化などの多様な機能の高度な集積が進んだ拠点が形成されています。

特に、研究開発機関を中心とした企業の立地が進み、東京のものづくりをリードする拠点が形成されています。

○交通結節機能や道路ネットワーク、歩行者空間の改善が進むとともに、個性的な飲食店等の集積を生かし、にぎわいが生まれる拠点が形成されています。

○目黒川沿いでは、遊歩道と一体となった公園・広場や敷地内緑化により、広がりのある緑と潤いのある親水空間が形成されています。

天王洲・北品川

○羽田空港へのアクセスの利便性を生かし、都市基盤の整備や土地の高度利用などにより、業務、商業、文化、居住等の集積が進み、個性豊かで魅力のある拠点が形成されています。

○運河の護岸や遊歩道の整備、水辺に顔を向けた商業施設や文化・交流施設の立地などにより、回遊性があり、船からの眺望にも配慮した、にぎわいと魅力のある空間が形成されています。

武蔵小山・戸越

○土地の高度利用や都市基盤の整備により、商店街の更新、商業、居住、文化、コミュニティなどの機能の強化・集積、防災性の向上が進み、にぎわいと回遊性のある拠点が形成されています。

大井町

○羽田空港へのアクセス利便性を生かし、土地利用の転換や道路等の基盤整備が進み、業務、商業、宿泊、文化などが集積した、中心部の業務機能を支える拠点が形成されています。

大森

○駅周辺の市街地の機能更新や平和島等へのアクセスの強化が進み、商業、産業・業務、居住機能が集積するとともに、歴史や文化が感じられる、魅力のある拠点が形成されています。

オリンピック・パラリンピック競技施設周辺

○大井ホッケー競技場を含む大井ふ頭中央海浜公園は、スポーツ施設が集積した総合的なスポーツ・レクリエーションの場となっています。

木造住宅密集地域

○特定整備路線や防災生活道路の整備、建物の不燃化・耐震化や共同化、無電柱化などが進み、燃えない・倒れない安全な市街地が形成されるとともに、良好な住環境と地域コミュニティが形成されています。

商店街

○多くの地域に存在する商店街が、機能更新を図りながら、それぞれの個性に合わせた地域主体の取組により、活性化されています。

○空き店舗や空き家等が、テレワークや地域コミュニティの場、起業支援の場となるなど、地域に根差した魅力のある空間として活用されています。

【都市づくりの7つの戦略】

戦略 01	持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成
戦略 02	人・モノ・情報の自由自在な交流を実現
戦略 03	災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築
戦略 04	あらゆる人々の暮らしの場提供
戦略 05	利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出
戦略 06	四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築
戦略 07	芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

3 東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（2021(令和3)年3月 東京都改定）

【目標年次】 2040 年代

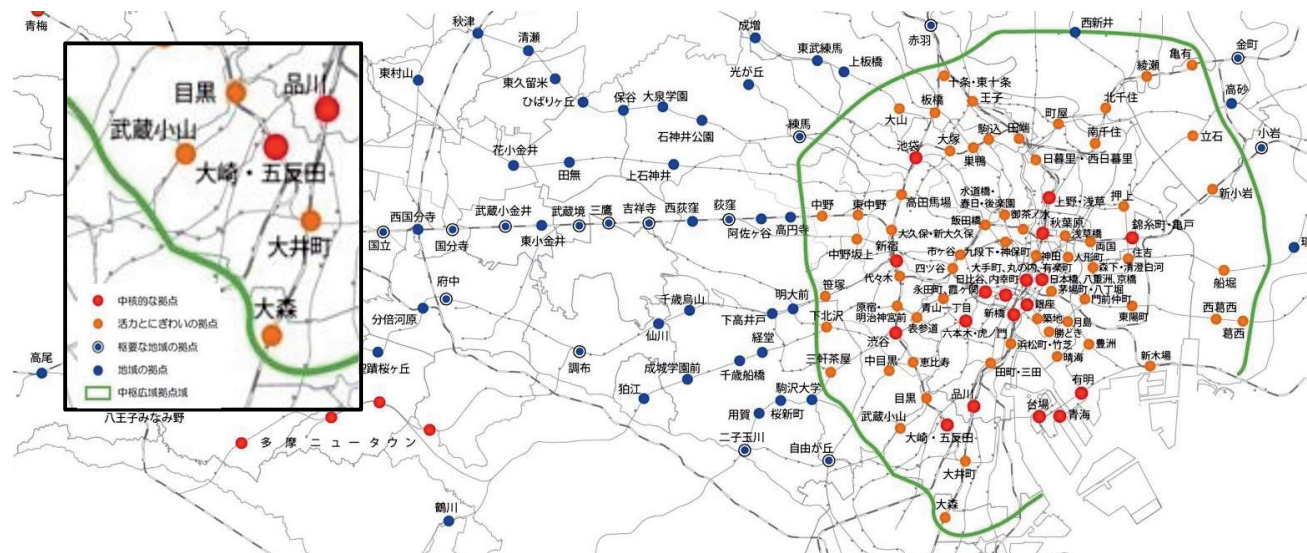
【役 割】 都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を示すもの

■都市づくりの目標

「成長」と「成熟」が両立した未来の東京を実現

- AI や IoT などの先端技術も活用しながらゼロエミッション東京を目指し、地球環境と調和を図り、持続的に発展していくことを理念とする。
- 東京のブランド力を高め、世界中から選択される都市を目指す。加えて「ESG」や「SDGs」の概念を取り入れて都市づくりを進め、持続的な成長を確実なものとする。
- あらゆる人が活躍・挑戦でき、ライフスタイルに柔軟に対応できることが重要。多様な住まい方、働き方、憩い方を選択できる都市を目指す。
- みどりを守り、まちを守り、人を守るとともに、東京ならではの価値を高め、持続可能な都市・東京を実現する。

中核的な拠点等

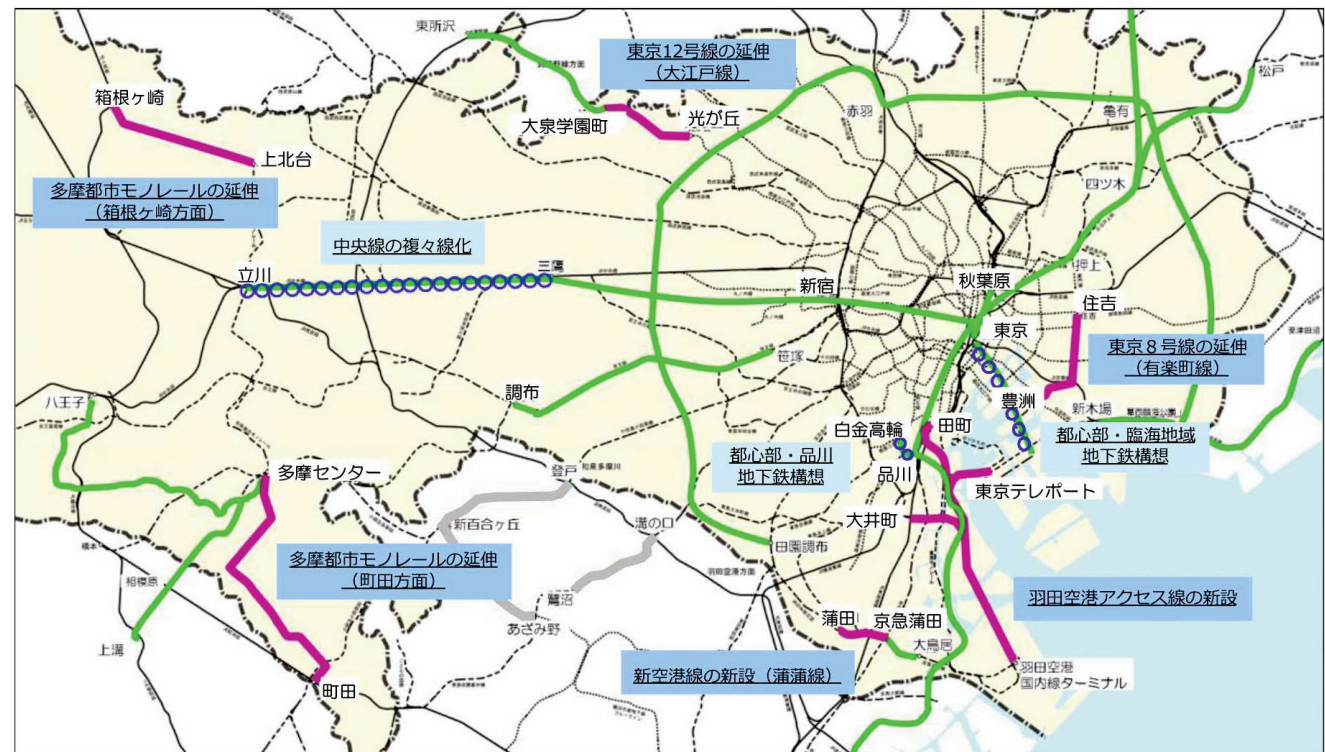


【品川区内で位置付けられた拠点とその形成・育成の方針】

中核的な拠点	【品川】【大崎・五反田】 首都機能など東京圏及び日本の中心的な役割を担うとともに、国際ビジネスや成熟社会にふさわしい都市文化などを支えていくため、高次の中核管理機能のほか、国際ビジネス、業務、商業、芸術・文化、観光、居住などの地域特性に応じた多様な機能の集積を図る。
活力とにぎわいの拠点	【目黒】【武蔵小山】【大井町】 商業、文化、交流など、地域の活力やにぎわいを生み出す多様な都市機能の集積を図る。

国の交通政策審議会答申において位置付けられた路線

答申において検討などを進めるべきとされた路線	羽田空港アクセス線、新空港線、東京8号線、東京12号線
その他の路線	都心部・臨海地域地下鉄構想、都心部・品川地下鉄構想



新たに加えられた目標・戦略等

都市づくりの目標	○AIやIoTなどの先端技術の活用 ○あらゆる人の活躍・挑戦、ライフスタイルへの柔軟な対応
都市づくりの戦略	戦略 08 デジタル技術を生かした都市づくりの推進
新型コロナ危機を契機とした都市づくりの方向性	○サステナブル・リカバリーな都市づくり ○多様な住まい方・働き方・憩い方を選択できる都市づくり ○国際的な競争力、東京の持続的発展 など